※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　情報１　（東京書籍出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会ではなくてはならないコンピュータやネットワークなどの基礎知識及び情報技術の役割や影響を学んでいくとともに、実践的・体験的な学習を通してコンピュータの使い方を学習します。

２　学習の到達目標

・効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
・情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりを理解できる。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	コンピュータによる情報の処理と表現	○コンピュータと情報処理 ○情報のディジタル化	a: コンピュータ動作の仕組みや構成を理解し、データの流れやソフトウェアの必要性について理解できる。 b: 情報のディジタル化について理解し、それらのメリット・デメリットについて考えることができる。 c: コンピュータの仕組みや各データの表現方法に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート記述	授業態度 振り返りシート
	ネットワークがつなぐコミュニケーション	○メディアとコミュニケーション ○ネットワークの動作と仕組み ○情報セキュリティ	a: プロトコルや情報伝達の仕組みについて理解し、セキュリティ対策についても理解できる。 b: ネットワークの仕組み及び情報セキュリティを理解し、それらが社会に与える影響や役割について考えることができる。 c: コンピュータネットワークや情報セキュリティに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート記述	授業態度 振り返りシート
	情報システムが支える社会	○情報社会と情報システム ○安全な情報社会を目指して	a: 情報システムの役割、サイバー犯罪が社会に与える影響などについて理解できる。 b: 各情報システムの役割やサイバー犯罪、情報に関する各種法律、各種権利について理解し考えることができる。 c: さまざまな情報システムや情報化社会における法律などに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート記述	授業態度 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	コンピュータ実習	○ワープロソフトの基本操作 ○タイピング ○文書作成	a: ワープロソフトを活用することで適切に情報を加工・処理・発信できることを理解できる。 b: ワープロソフトを活用した情報の伝え方を考えることができる。 c: ワープロソフトに興味をもち、実習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート記述 作品の完成度	授業態度 振り返りシート
後期	問題の発見・分析と解決の方法	○問題解決とは ○問題解決のための方法 ○問題解決の実践	a: 問題解決の流れを理解することで次の問題解決の場面でその経験を生かせることを理解できる。 b: 問題解決の必要性を理解し考えることができる。 c: 問題解決方法に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート記述	授業態度 振り返りシート
	問題解決と処理手順の自動化	○基本的なアルゴリズムとプログラム ○いろいろなアルゴリズム	a: プログラム言語を作成するためにもアルゴリズムが必要であることを理解できる。 b: アルゴリズムについて基礎的な知識を理解し、問題解決に向けてアルゴリズムを考えることができる。 c: アルゴリズムに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート記述	授業態度 振り返りシート
	コンピュータ実習	○表計算ソフトの基本操作 ○表計算作成	a: 表計算ソフトを活用することで適切に情報を加工・処理・発信できることを理解できる。 b: 表計算ソフトを活用した情報の伝え方について考えることができる。 c: 表計算ソフトに興味をもち、実習に積極的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 ノート記述 作品の完成度	授業態度 振り返りシート 実習態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度